

高機能メールアプリケーション

SCM 5 Gメール

送信ミスのメールを取消したい。回収したい。

ファイルを間違えた相手に送信したことを気づいたが止められない。
「取り返したい」、「間違って送信した情報を削除したい」が・・・

1つの作業で一瞬に課題山積です



損害賠償



甚大な影響範囲



事後処理費用の発生



風評被害

事故につながるメール誤送信は、受信者が外部の方の場合が大きく責任問題につながる恐れがある。
送信したメール内容によっては損害賠償にもなりケアレスミスでは許されない。

メール誤送信内容	宛先間違い	48.8%
	添付ファイル間違い	18.9%
	BCC指定をTo,CCで発信	5.3%
誤送信発見者	送信者（本人）	76.3%
	上司、同僚等 社員	45.5%
	メール受信者（外部）	38.9%

出所 「勤務先におけるメール誤送信の実態調査 2019年」

事故につながるファイル誤送信で情報漏洩を防ぐためには以下の機能が必須。



暗号化（パスワード）付メール



メール誤送信後に該当メール回収

誤送信されたメール受信者に連絡したが、「削除協力はする」と言ってくれますができれば削除確認までしたいが被害を拡大かしない対策が急務です。

SCM5Gメールは

- ✔ パスワード付き送信
- ✔ 受信者の開封チェック
- ✔ 誤送信発覚後の送信情報の削除

※ が可能なサービスです。



※誤送信発覚後、受信者のメール開封状況を確認し開封履歴があっても再確認、第三者への転送等を防ぐことが送信者から行うことが可能です。

CAD設計図面等 機密情報の漏洩は重大事故です